

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会（第3回）

会議録

開催日時	平成30年6月16日（土） 午後5時00分～午後6時10分
開催場所	生駒市役所 大会議室
出席者 （委員）	溝口委員、城谷委員、遠藤委員（三木副院長代理出席）、霜田委員、世古委員、古東委員、林委員、湯川委員、工藤委員、井上委員、辻村委員、喜多委員、水野委員、小紫委員
欠席者	中栖委員、堀井委員、吉藤委員
関係者	近畿大学医学部奈良病院 岩尾事務長補佐、田花課長 石井クリニック 石井氏 在宅医療介護推進部会員：崎司氏、月川氏、高山氏、吹留氏 認知症対策部会員：山上氏、茨木氏、川田氏、喜多氏、徐氏、中溝氏
事務局	（市事務局）増田市長公室長、影林福祉健康部長、杉浦福祉健康部次長、田中福祉健康部次長地域包括ケア推進課長兼務、石田地域医療課長、近藤介護保険課長、後藤地域包括ケア推進課長補佐、川島健康課長補佐 （市医師会事務局）中畑局長、土橋次長
傍聴	1人
案件	（1）部会報告（平成29年度活動報告及び平成30年度活動予定） ① 在宅医療介護推進部会 ② 認知症対策部会 （2）その他 ① 地域包括ケア推進大会の開催について ② 生駒市行方不明高齢者検索ネットワークシステムについて ③ 高齢者虐待の現状について ④ やまと西和ネットの進捗について
資料	資料1 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会委員名簿 資料2 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会開催要綱 資料3 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 在宅医療介護推進部会平成29年度活動報告書 資料4 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 認知症対策部会平成29年度活動報告書 資料5 地域包括ケア推進大会の開催について その他 ・入退院調整マニュアル ・在宅医療・介護ガイドーわが家で自分らしく暮らすー ・生駒市在宅医療・介護連携支援センターのチラシ ・EHRを用いた地域医療推進プロジェクト「やまと西和ネット」進捗について

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
会長	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶 <p>本日はご多忙のところお集まりいただき、ありがとうございます。また、各部会についても様々な議論をいただき、ありがとうございます。</p> <p>生駒市は長寿の街です。長生きと言うことと合わせて、健康にどのように過ごすかと健康寿命の概念からも生駒市・奈良県が全国の中でもトップレベルとなるようしっかりと取組を行うことが課題と思っています。</p> <p>生駒市は、高齢化のスピードが全国でトップ5%に入る勢いで進んでいますし、少子化についても奈良県は下から5番目に子どもが少ない街で、生駒市はさらに少ないです。少子高齢化の課題がありますが、ここに集まっている皆さんをはじめ、関係者や市民の皆さんの取組、行動力、お力は全国に負けないと思っていますので、課題先進地であると同時に、対策先進モデル都市という形でしっかりとお伝えしていきたいので、ぜひ皆様のお力を貸していただけましたら幸いです。</p> <p>本日、各部会からご報告をいただくということですが、報告を1つのきっかけとして、今年度の新たな前進に繋げていただけたら幸いです。生駒市としましても全力で取り組んでいきますので、何卒よろしくをお願いします。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料確認
事務局	<p>2 委員の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の変更、代理出席の紹介 ・資料1、資料2に基づいて説明。 <p>以上になります。</p> <p>以後の進行は、会長をお願いします。</p>
会長	<p>3 案件</p> <p>それでは、案件（1）部会報告について、平成29年度活動報告及び平成30年度活動予定をそれぞれの部会長から報告をお願いします。</p> <p>まず、①在宅医療介護推進部会について、部会長からお願いします。</p>
在宅医療介護推進部会会長	<p>① 在宅医療介護推進部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3に基づいて説明
会長	<p>ありがとうございます。部会長からの報告内容にご意見・ご質問はありますか。では、次に、②認知症対策部会について、部会長からお願いします。</p>
認知症対策部会会長	<p>②認知症対策部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4に基づいて説明
会長	<p>ありがとうございます。部会長からの報告内容にご意見・ご質問はありますか。</p> <p>ただ今、各部会長から報告を受けました平成30年度の活動予定に沿って、今年度も取り組んでいただきたい。認知症対策部会は、すでにケアパスを作成していますが、今年度は具体的な事例集を作成し、市民に啓発していただけるのをまとめていただけるのはありがたいです。在宅医療介護推進部会は、入院調整</p>

<p>会長</p>	<p>マニュアルや資源集を整備していただいています。今年度は、具体的にどのような在宅医療を進めていくのか、かかりつけ医にて患者が増悪時にどのように対応を進めていくのか、より具体的に切り込んでいく年度となると思っています。何卒、よろしくをお願いします。</p> <p>案件（２）その他に入る前に、在宅医療介護推進事業の奈良県の取組状況等について、郡山保健所所長からご説明をお願いします。</p>
<p>水野委員</p>	<p>第7期奈良県の医療計画の中で5疾病や5事業の他にプラスとして在宅医療があげられており、在宅医療の充実、医療と介護の連携強化があげられており、在宅医療の充実、医療と介護の連携強化が政策目標にかかげられています。今年度は、介護保険事業計画が3年ごとに改定されることと合わせて、医療と介護の連携という形で、介護保険事業の計画と医療計画と同じタイミングで計画をたてました。</p> <p>医療計画では、新規参入在宅医への支援、小規模の訪問看護ステーションを大規模化するための支援、ICT活用による医療・介護連携の促進、入退院ルールを全県へ普及・促進していくことが施策となっています。</p> <p>入退院調整ルールは平成27年に国の実証事業として始まり、中和保健所管内の東和医療圏でいちばん初めに入退院ルールを策定し、運用開始後、見直しを行いながら進んでいます。昨年度は、西和7町の入退院ルールが出来ました。生駒市も昨年度に策定し、今年度の4月から運用開始となっています。生駒市は独自で作成や見直しをしていますが、西和7町や東和医療圏など保健所と一緒に進めている地域は、しばらくは保健所が様子をみながらルールの不具合などを直していきますが、ゆくゆくは市町村で独自に進める形にしていきます。今年度は、大和郡山市が完成予定で、吉野、天理、山添などが今年中にルールを作成することになっています。</p> <p>ICTの活用は、東和医療圏では宇陀市立病院が中心になり、桜井の済生会中和病院が合流し、今年度の10月から運用を始める予定です。</p> <p>それと、在宅医療では「看取り」や「終末期」という言葉を使っていましたが、これからは「ACP(アドバンスケアプラン)」というようになります。厚労省から「人生の最終段階における医療ケアの決定プロセスに対するガイドライン」が出ています。自分がどのように人生の最終段階を迎えるかということ、当事者自身が家族を交えて考えて、家族と当事者だけでなく周りの医療や介護で携わる人と一緒に考えて計画を立てようというものです。病院に入院をした時から、こういう最期を迎えたいということの前向きに考えていくというイメージです。</p> <p>もう1つ県の地域医療構想で進めているのが救急の受診を「断らない病院」と「面倒みのいい病院」を機能分化し、病院の性格をはっきりと分かるように見える化することです。そして、生活の質や、自己決定を尊重し支援することをやっているというのを指標にした「面倒みのいい病院」の機能を高めていきます。また、「面倒みのいい病院」の指標を見える化し、住民の皆さんや介護される皆さんにも分かるようにしていく方法をとっていきます。</p>
<p>会長</p> <p>認知症対策部会会長</p>	<p>ありがとうございます。何か質問やご意見などありませんか。</p> <p>訪問看護は、看護師の負担が大きいので、大規模化するべきだと思っている。大規模化に向けて県が支援するということですが、個人事業所を大きくしていくのは難しいと思います。具体的にどのような支援を考えているのか教えてほしい。</p>
<p>水野委員</p>	<p>県の方で医療政策部長からの説明があり、大規模化をするための援助をするという話があったが、具体的にどうするという事はまだ不明。個々に特色を持って事業所を運営しているので簡単に統合するのは難しいと思っている。</p>

会長	<p>他に質問はありますか。 ないようですので、次に案件（２）その他の１つ目、地域包括ケア推進大会の開催について、事務局から説明を受けます。</p>
田中次長	<p>案件（２） ①地域包括ケア推進大会の開催について ・資料５に基づいて説明</p> <p>１部では、生駒市内の地域包括支援センターや社協とともに進めているいきいき百歳体操の取組について報告を行います。いきいき百歳体操は週に１回、地域の通いの場を集まり筋力トレーニングを行って顔の見える関係性を構築する中で、地域とのつながり、支え合いの仕組みづくりを発展させていくというのが強みです。いきいき百歳体操に参加している最高年齢の人の表彰や、地域のつながりの実践報告を行っていただき、サロンや他の介護予防の事業所を交えて市内全域の高齢者の介護予防の取組を、各関係機関の関係者の方を交えて広げていく大会にしたいと考えています。</p> <p>基調講演は、地域包括ケアの取組を先進的に行っている市町村の１つとして武蔵野市の笹井副市長をお招きします。武蔵野市は、医療と介護の関係者と住民が集まってケアリンピックを開催しているような地域で、他にも先駆的な取組をしている自治体ですので、住民の方にも発信していただきたいと思います。</p> <p>２部では、看取りをテーマにしたフォーラムを開催します。基調講演は、西和メディカルセンター理事長の尾崎先生に依頼しています。またパネルディスカッションでは、看取りについて実践をしている生駒市内の医療介護関係者の方にお話をいただいて、関係者に理解を深めていただきたいと考えていますのでよろしくをお願いします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。何か質問などありますか。 ないようですので、次に２つ目「生駒市行方不明高齢者検索ネットワークシステムについて」事務局から説明を受けます。</p>
田中次長	<p>②行方不明高齢者検索ネットワークシステムについて</p> <p>行方不明高齢者検索ネットワークシステムを地域包括ケア推進課にて進めております。これは、外出して自宅に戻れず行方不明になってご自宅に戻れない恐れがある高齢者を事前に登録していたとき、その情報を生駒市と警察と地域包括支援センターと共有しているもので、行方不明者の早期発見・早期保護につながっています。</p> <p>登録者には登録番号が記載されたキーホルダーを事前に配布しており、キーホルダーの番号を警察や市に通報していただいたら、本人を特定できるようになっており、ご自宅に連れて帰ることが出来るようになっていきます。また、登録者に反射板のシールを配布しており、靴などに貼ってもらうようにしていますので、靴のかかちを見ていただくと登録者であることが分かるようになっていきます。</p> <p>現在、登録者が５月末で１６２名です。去年は、市に７件の通報があり、１件は不幸なことになりましたが、保護して自宅へ帰ることにつながっています。</p> <p>これは、家族の同意を得て検索を行うこととなります。介護事業者や薬局や病院関係者など事業所の方にネットワーク登録していただくと、行方不明となった時に捜索協力のために同時に情報を発信しますので、登録者を見かけたときに保護が出来ます。人命に関わることでありますので、できればご登録いただけたらと思います。通常業務範囲内の捜索協力をお願いしていますので、特に人員配置をお願いするものではありませんので、登録の申請などに関しては、地域包括ケア推進課へご連絡いただきたいと思っております。よろしくをお願いします。</p>

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。この件で何かご質問などありますか。 次に、3つ目「高齢者虐待の現状について」地域包括ケア推進課から説明をお願いします。</p>
<p>田中次長</p>	<p>③高齢者虐待の現状について 認知症高齢者の方が増えています。認知症の介護について家族の理解が難しく、対応がうまくいかないということで、不適切なケアとなり虐待の通報件数が少しずつ増えてきております。昨年、通報件数24件、内12件が虐待認定をしています。地域包括支援センターなどで虐待の疑いがある相談件数が84件と年々増えています。 医療機関や介護事業所などで虐待の事実を発見する機会が多くあると思いますので、命の危機に直結するようなことがあれば、法律に則って通報義務がありますし、疑いの場合も通報する努力義務がありますので疑わしい事案があれば地域包括ケア推進課等へご一報いただけたらと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。この件について、何かご質問などありますか。 ないようですので、最後に「やまと西和ネットの進捗について」です。本件は、近畿大学医学部奈良病院が事務局となって取り組んでいます。では、近畿大学医学部奈良病院の田花課長に説明をお願いします。</p>
<p>田花課長</p>	<p>④やまと西和ネットの進捗について 医療と介護の両方の情報を見ていただけますが、時間の都合上、医療を中心に紹介します。 患者が病院を受診したとして、受診日、傷病名、処方内容、レントゲンなどの画像データ、処置内容が表示されます。これは、近大だけでなく、参加している各施設の方がお互いに参照できることになっています。診療情報提供書のテンプレートも導入されており、メールのように送受信を行うことができます。診療情報提供書と合わせて画像情報や一部動画も添付することができます。動画は、医療だけでなく、在宅での生活動作を画像で報告いただくことに応用できます。情報を受けとった機関は、「メールが届きました」とメッセージが届きますので、メッセージをクリックすると診療情報提供書を見ることができます。また、添付されたレントゲンや内視鏡画像や検査データを、診療情報提供書と合わせて参照することができます。医療機関は、このシステムを利用しますと加算をとっていただくことができます。加算をとるにあたっては、日本医師会で推奨されています HPKI を申請して電子認証を登録していただくことが必要になります。 現状、6月16日時点での登録施設は40施設です。医科が26施設（病院5施設、薬局3施設、診療所17施設、歯科1施設）、介護14施設（訪問看護ステーション3施設を含む）です。詳細な登録施設は、ホームページ「やまと西和ネット」で検索していただくと確認できます。登録患者数は6月16日時点で1085名となっています。 手挙げをした近大病院を中心に西和医療圏地域医療介護連携推進協議会として進めていますが、今後6月末か7月の初め頃に、この協議会を一般社団法人化する予定です。 このネットワークは西和圏域だけでなく、他のネットワークにもつながっていく予定です。先ほど、保健所所長から紹介があった宇陀市のネットワークとつなぐ案もあります。また、同様のネットワークのまほろばネットやおおによしネットともつながるかもしれません。それから、介護グループが立ち上げているネットワークや調剤薬局が作っているネットワークともつながる可能性があります。そのため、西和ネットだけでは40施設ですが、今後、全県規模のネットワーク</p>

<p>田花課長</p>	<p>への展開も視野に取り組みます。</p> <p>このネットワークが出来上がることが2025年モデルの医療・介護連携に必ず役立つということをぜひ皆様にご理解いただき、登録数の増加が医療・介護現場の利用価値を向上させ、それは結果的に住民に還元されるということをぜひ、市ぐるみ、医師・介護に理解していただき、この登録にご協力いただきたいと思ひます。今は生駒市にご協力いただき、各施設にも参加申し込みを置いてもらっていますが、手に取っていただく方が少なく、手にとっていただいても申し込みに繋がらない現状があります。事務局は引き続き近大にありますので、詳細についてはお問合せください。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。何かご質問などはありますか。</p> <p>先ほど、ご紹介いただいたように各施設に参加申し込みのチラシを置いていますが、それだけでは、詳細が分からないので「入ります」とはならないかと思ひます。その時に、周知するのが我々のできることであり皆さんから「こうやで」と言っていただくことで背中を押してもらえるのではないかと思ひますので、皆様の協力をお願いします。</p> <p>他に何かご意見やご質問はありますか。</p> <p>なければ、これにて第3回生駒市医療介護連携ネットワーク協議会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>